

授業での活用（実践報告例）

【国語科】

1) 使用機器・使用ソフト

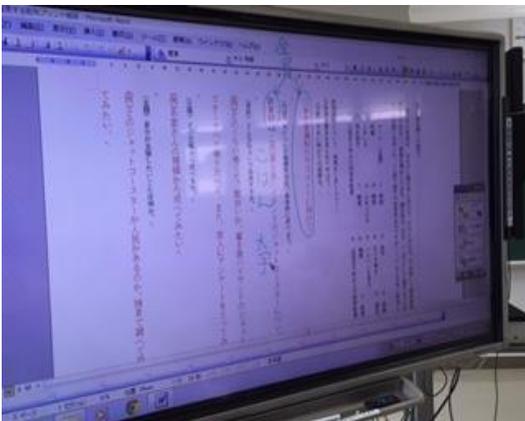
- ・ PowerPoint2003 Word2007（パソコン用ソフト）他
- ・ 電子黒板及び接続のパソコン(Windows7)、iPad(学校用)、（生徒個人の）iPad(mini)
- ・ 大辞林ビッグローブ（2600円）

2) 使用状況

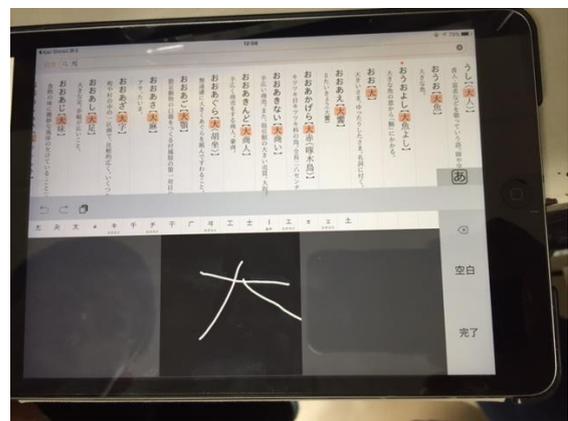
学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数/授業時数)
本2	普通科	国語表現	2 / 2
本2	2職1	国語表現	2 / 3
本2	2職2	国語表現	2 / 3
本2	2職3	国語表現	2 / 3

3) 使用例および生徒の反応

- ① 大型ディスプレイや電子黒板を使い、PowerPoint と Word による視覚教材を多用した授業を中心として進めている。配布プリントを映し出すことで、生徒にとっては授業の内容が一目で分かりやすく、前をずっと見る姿勢作りにつながる。
- ② 漢字検定の勉強で、意味調べや類義語・対義語の確認作業にて即座に調べることができ、辞書を引く時間を短縮できる。また、読みが分からない場合、手書き検索ができる。



↑ ① 電子黒板で Word に解答やメモを入れる



↑ ② 大辞林のアプリで手書き検索

4) 今後の展望（来年度に向けての工夫等）

- ・ 生徒は電子黒板や大型ディスプレイに慣れており、表示された内容をそのまま書くだけに留め、書く工夫が出来ない生徒が増えている。ICT 機能を使いつつ、板書と同時進行で進め、メモを取る習慣づけができるように工夫をしていきたい。
- ・ 今まで iPad のインターネットで調べていた内容が、使い慣れている機器から大辞林のアプリを使用することで、大幅な時短につながる。従来の辞典で調べる煩わしさが軽減されたことで、学習意欲に貢献するのではなかろうか。